

「障害のある子供の今後の教育支援の在り方」に関する有識者会議の中間報告【概要版】

中間報告における提言内容

(1) 連続性のある多様な学びの場の充実

ア 多様な学びの場における指導の充実・連続性の確保

- ・ 通常の学級等におけるわかりやすく必要な配慮がある授業の推進 など

イ 小中高等学校の校内支援体制の充実

- ・ 学校全体で支援するための組織の再点検や機能の強化 など

ウ 特別支援教育コーディネーターへの期待と位置付け

- ・ 小中高の特別支援教育コーディネーターが役割に専念するための条件整備 など

エ 特別支援学校のセンター的機能の充実・活用

- ・ 特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの増員と専門職の配置要望 など

オ 支援籍学習・交流及び共同学習の充実

- ・ 高校内分校と高校の交流及び共同学習における更なる連携の強化 など

(2) 早期からの一貫した支援の充実

ア 教育相談体制の整備

- ・ 様々な進路選択や相談への適切な対応と相談窓口の確保 など

イ 個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用等

- ・ 進学時・転学時のスムーズかつ確実に支援を引継ぐ体制の構築 など

ウ 就学後の学びの場の見直し

- ・ 入学後の支援や学びの場を見直すための枠組み作り など

(3) 特別支援教育を担う教職員の育成等

ア 特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・ 全ての教職員が特別支援教育の担い手になれるような専門性向上の取組の実施 など

イ 特別支援教育に係る経験を有する教職員の増加

- ・ 人事交流による特別支援教育経験を有する教職員の増加に向けた方針の検討 など

ウ 管理職に求められる役割等

- ・ 管理職の特別支援教育に関する専門性を向上させるための取組の実施 など